

世界の水環境保全のための国際的活動経費

91百万円（80百万円）

水環境部水環境管理課

1. 事業の概要

アジア水環境パートナーシップ事業は、アジアモンスーン地域を対象として、水質モニタリングや水質汚濁防止技術の優良事例など、水環境管理のための有用な情報を収集整理し、関係諸国と共有可能なデータベースを構築する。

また、今後開催される世界の水問題に関する会議等において、水環境分野における我が国の取組について積極的に情報発信する。具体的には、「第13回国連持続可能な開発委員会（CSD13）」、「第4回世界水フォーラム」、「国連水と衛生に関する諮問委員会」等の会議を活用する。

さらに、世界の水環境分野における我が国の今後の取組の方向性について検討するため、世界の水環境の課題整理、世界の水環境保全に向けた施策検討等の調査研究を行う。

2. 事業計画

	H16	H17	H18	H19	H20
(1) アジア水環境パートナーシップ事業 ・ データベース構築 ・ 技術研修の実施					
(2) 水環境保全活動の情報発信 ・ 国際会議等への参加、報告 ・ 国際会議でのイベント等の開催					
(3) 世界の水環境保全のための調査研究 ・ 世界の水環境の課題整理及び分析 ・ 世界の水環境保全に向けた施策の検討					

3. 施策の効果

水環境関連情報を共有することにより、アジアモンスーン地域における水環境保全施策がより一層推進される。また、国際会議への参加、世界の水環境問題の調査研究を通じ、世界の水環境分野における我が国の今後の取組の方向性について明らかにすることができる。

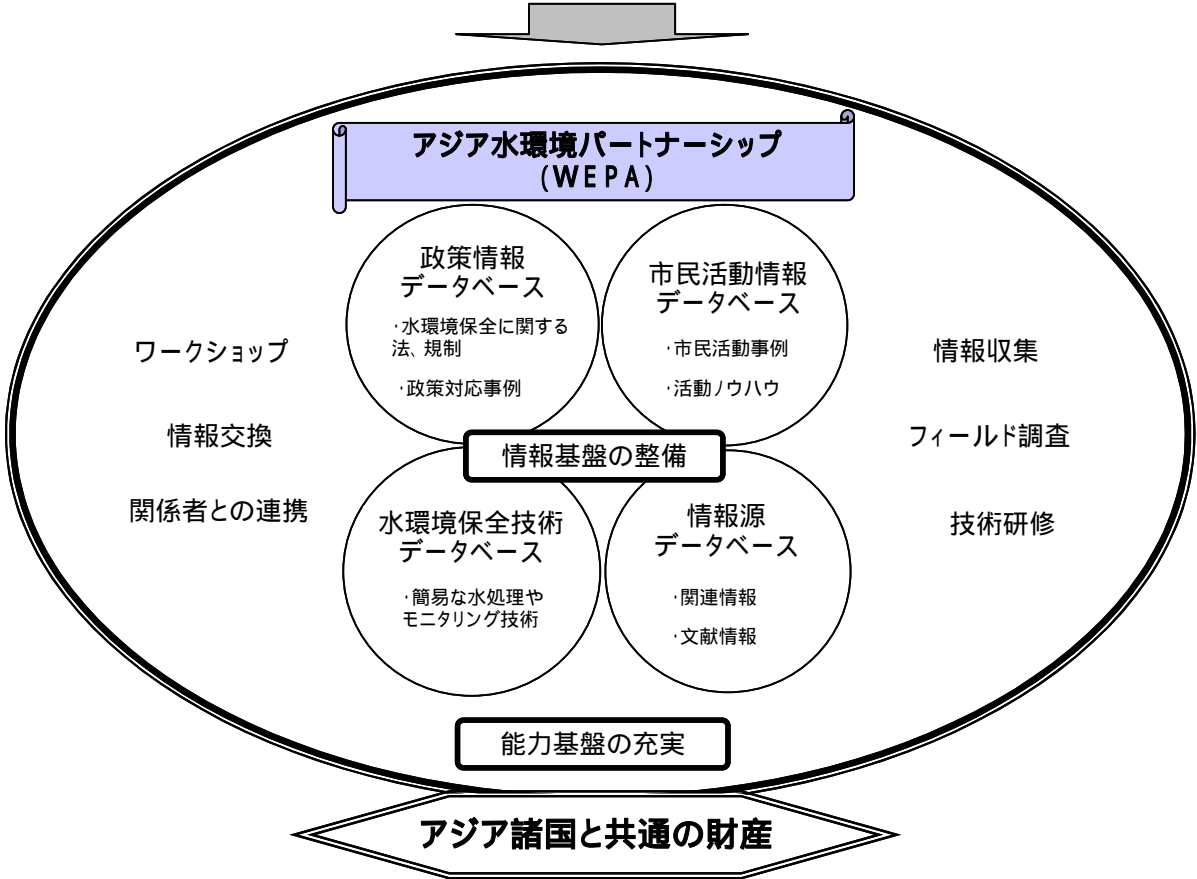
アジア水環境パートナーシップ事業 (WEPA)
(Water Environmental Partnership in Asia)

アジアの水問題は危機的状況
しかし、水問題解決の対応が困難

第3回世界水フォーラム

【閣僚宣言】 水環境ガバナンスの強化
キャパシティビルディングの充実

【水行動集】 水問題解決のための自助努力を支援
・アジア水環境パートナーシップ



平成16年度



平成20年度

- 情報収集**
・文献調査、フィールド調査、
ワークショップ、技術研修
- 情報提供**
・データベース構築
・関係国の関係者との連携

第4回世界水フォーラム:(H18.3)

プロトタイプの公開

第5回世界水フォーラム:(H21.3)

WEPA総合評価発表

世界の水環境保全のための主な国際会議

国連持続可能な開発委員会 (CSD)

1992年6月に開催された「環境と開発に関する国連会議(地球サミット)」で設置が決まった国連の組織。2005年4月には13回目のCSD13を開催予定。「水、衛生、人間居住」の今後の取組について協議予定。

世界水フォーラム (WWF)

水に関する国際NGOである世界水会議が、3年毎に開催している会議。第1回(1996年)はモロッコ、第2回(1999年)はオランダ、第3回は2003年3月に日本で開催。第4回は2006年3月にメキシコで開催予定。

国連水と衛生に関する諮問委員会

2004年3月22日の国連世界水の日、アナン事務総長が設置を発表。議長の橋本龍太郎元総理をはじめとして、各界の経験豊富な人々で構成される。第1回の諮問会議は、7月22日～23日にニューヨークの国連本部で開催。

世界の水環境保全に向けた施策の検討

早急な対応が必要とされる代表的事例

- (アジアモンスーン)
公共用水域の水質汚濁等
- (中央アジア)
カザフスタンにおけるアラル海の面積減少及びヌラ川水銀汚染等
- (南アジア)
バングラデシュの地下水ヒ素汚染等
- (中東)
淡水資源の確保(海水淡水化)等
- (東欧)
ルーマニア、ブルガリアの国際河川の水質汚濁等
- (アフリカ)
チャド、シエラレオネにおける安全な水の確保等
- (戦後復興国)
イラクの復興支援等

世界の水環境保全に向けた施策の検討

上記の事例分析を行うことなどにより、水質改善に向けた共通の課題を抽出するとともに、課題の解決に向けた国際的な取組のあり方を検討する。